

情報セキュリティに関する注意喚起

今年はおリンピック・パラリンピックイヤーでもあり、情報セキュリティに関するリスクが高まっています。当市においても、別紙のとおり、ここ最近不審メールの受信、情報セキュリティが適切に守られていない事案も発生しているところ、もう一度各部において、情報セキュリティについて対応の手順の確認等をお願いします。

1 不審なメールの受信について

- 件名や送信者に心あたりがないメール
→ 開封せずに削除
- 件名や送信者が業務に関連する可能性があり、確認したいもの
→ 情報政策課に連絡のうえメール開封
※添付ファイルや URL リンクは絶対にクリックしない
- 不審メールを開封した、または開封されていることに気付いた
→ 開封したパソコンの LAN ケーブル（ピンク色）を抜き、情報政策課へ至急連絡するとともに、ウイルスチェックを実施。

2 メールを送信について

外部の人（市民や事業者等）へ一斉にメール送信する場合、必要がある場合をのぞき、個人情報保護等のため他の送信者が分からないように送信。（Bcc での送付）。

3 USB メモリの使用について

USB メモリを使用する場合は、パソコンから LAN ケーブルを抜いてから USB メモリを接続し、ウイルスチェックをかけてから使用。

なお、3月4日に職員向けに外部講師を招いて「情報セキュリティ研修」を行います。各課から1名以上出席をお願いします。

昨今の発生事例

1 不審メールの事例

- 「DHL 貨物配送」という件名のメールを受信。該当メールの添付ファイルを開こうとしたが開けず。ファイル名の偽造有、端末側でウイルスアラート表示。情報通信課への連絡は事案発生後1時間30分後。
- 昨年の12月、群馬中央病院内のパソコンがウイルス（Emotet）に感染し、パソコン内に保存されていたメールアドレスが流出。流出したアドレスの中に、本市職員等のアドレス（複数課）があり、不審メールの受信が確認された。

2 メールを送信についての事例

- 事業者宛てに一斉メールを送信。アドレスが Bcc ではなく To だったため、メールアドレスが送信者全員に見れる状況となり、受信者からの指摘があり、修正削除メールを送信。

3 USBメモリの使用についての事例

- 所管団体に管理しているUSBメモリ内の一部データ（紙媒体をPDF化したもの）をメール送信するため、インターネット系端末に接続し、ウイルスが検出。
- 業者から預かったUSBメモリをLGWAN系端末に接続し、ウイルスが検出。
- 所管している分析機器装置用のUSBメモリについて、LANを差したまま、インターネット系端末に接続したところ、ウイルスが検出。